

テーマは「田における農作物の作付状況」

田の耕地面積

東北各県の田の耕地面積は全国的に見ても大きく、6県全てが全国トップ10にランクインしています。

中でも秋田県は東北で一番大きな面積となっています。

また、東北各県は田畑合計の耕地面積に占める田の割合が高く、宮城県、秋田県及び山形県では約8割を占めています（表1）。

表1 田畑別耕地面積 (ha)

区 分	計	田	畑
青森県	149,300 (100%)	78,900 (53%)	70,400 (47%)
岩手県	148,700 (100%)	93,500 (63%)	55,100 (37%)
宮城県	125,300 (100%)	103,100 (82%)	22,200 (18%)
秋田県	146,300 (100%)	128,300 (88%)	17,900 (12%)
山形県	115,000 (100%)	91,100 (79%)	23,900 (21%)
福島県	136,100 (100%)	96,200 (71%)	39,900 (29%)
計	820,500 (100%)	591,100 (72%)	229,400 (28%)

資料：令和4年耕地面積統計調査結果



Maff

Navi

東北

Vol.18

[令和5年10月]

「まふナビ東北」では、農林水産省が実施している統計調査結果から、「東北地域」にクローズアップした情報をお届けします。

[発行]
農林水産省 東北農政局統計部

田で作付けされている農作物の作付面積

田で作付けされている農作物の作付（栽培）延べ面積は、秋田県が一番多く11万1,200畝となっています。

また、田の耕地利用率（田の耕地面積に対する作付（栽培）延べ面積の割合）は、宮城県、秋田県及び山形県では約9割となっています（表2）。

表2 田畑別作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率 (ha)

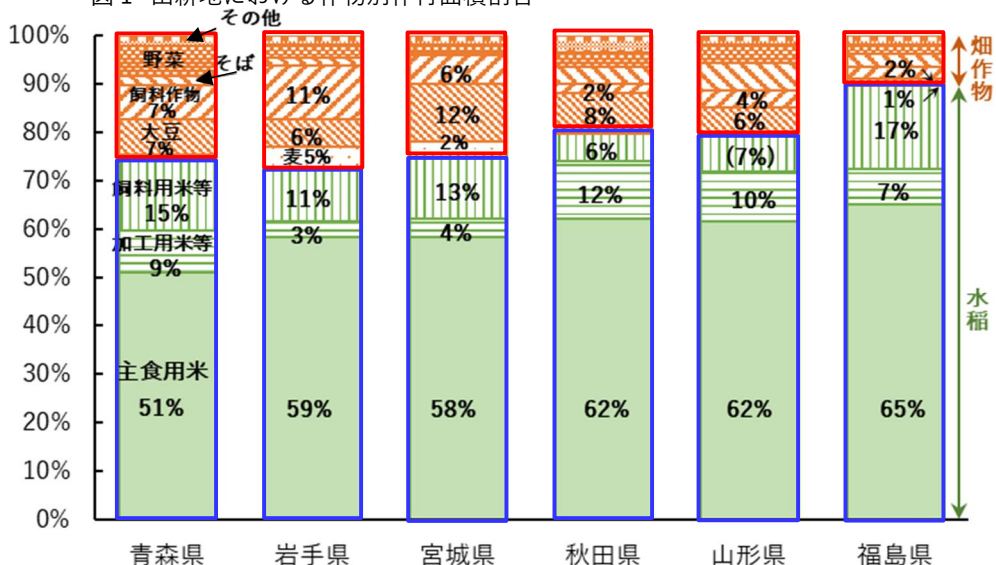
区 分	田			畑		
	耕地面積	作付(栽培)延べ面積	耕地利用率	耕地面積	作付(栽培)延べ面積	耕地利用率
青森県	78,900	66,300	84%	70,400	52,100	74%
岩手県	93,500	74,700	80%	55,100	43,100	78%
宮城県	103,100	97,500	95%	22,200	15,300	69%
秋田県	128,300	111,200	87%	17,900	12,000	67%
山形県	91,100	85,500	94%	23,900	18,700	78%
福島県	96,200	79,800	83%	39,900	25,100	63%
計	591,100	515,000	87%	229,400	166,300	73%

資料：令和4年耕地面積統計調査結果及び令和4年作付(栽培)延べ面積調査結果

田に作付けされている農作物の種類をみると、水稻（主食用米、加工用米等、飼料用米等）が大半を占めており、青森県、岩手県及び宮城県では約7割、秋田県及び山形県では約8割、福島県では約9割となっています。

一方、水稻以外の作物では、岩手県の飼料作物や宮城県の大豆において、当該県の約1割を占める主要作物となっています（図1）。

図1 田耕地における作物別作付面積割合



資料：令和4年作付(栽培)延べ面積調査結果

注1：加工用米等とは、加工用米、米粉用米、新市場開拓米、新規需要米（飼料用米及びWCS（稲発酵粗飼料用稲）を除く）、備蓄米である。

2：飼料用米等とは、飼料用米及びWCSである。

田で農作物を作付けした農業経営体数

水稻（食用）を作付けした農業経営体数は、個人経営体が約15万経営体（全個人経営体の約8割）、団体経営体が約3千経営体（全団体経営体の約4割）となっています。

水稻（食用）を作付けした農業経営体のうち、田で食用米以外の作物を作付けした割合は、個人経営体で14%、団体経営体で53%となっています。

このうち、田で稲以外の作物（小麦、大豆、そば、飼料作物、野菜など）を作付けした農業経営体の割合は、個人経営体では11%、団体経営体では44%となっています（表3）。

注：水稻（食用）とは、食用に供する目的（主食用米、加工用米及び米粉用米）で作付けされた稲である。

また、稲作物とは、水稻（食用）に加え、飼料用に供する目的（飼料用米、青刈り稲）で作付けされた飼料用稲である。

表3 水稻（食用）の作付けがあった農業経営体数

（経営体）

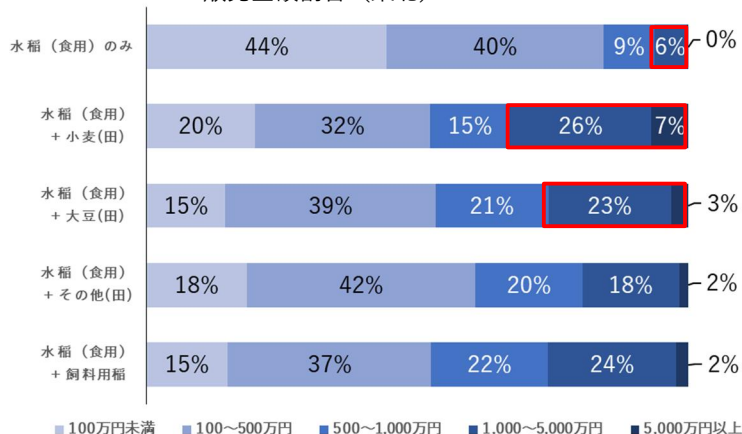
区 分	水稻（食用）を作付けした農業経営体数			うち、田で水稻（食用）以外の作物を作付けした農業経営体数			うち、田で稲以外の作物を作付けした農業経営体数		
	個人経営体数	団体経営体数		個人経営体数	団体経営体数		個人経営体数	団体経営体数	
		うち法人経営体数	うち法人経営体数		うち法人経営体数	うち法人経営体数		うち法人経営体数	うち法人経営体数
青森県	17,369	238	224	1,808 (10%)	112 (47%)	108 (48%)	1,555 (9%)	94 (39%)	91 (41%)
岩手県	26,785	487	341	3,184 (12%)	294 (60%)	210 (62%)	2,284 (9%)	242 (50%)	171 (50%)
宮城県	24,609	614	376	2,820 (11%)	345 (56%)	214 (57%)	2,133 (9%)	281 (46%)	166 (44%)
秋田県	25,297	663	473	3,872 (15%)	342 (52%)	253 (53%)	3,565 (14%)	314 (47%)	233 (49%)
山形県	19,831	405	331	5,389 (27%)	231 (57%)	205 (62%)	4,959 (25%)	207 (51%)	186 (56%)
福島県	33,773	341	309	2,958 (9%)	121 (35%)	113 (37%)	2,092 (6%)	75 (22%)	70 (23%)
計	147,664	2,748	2,054	20,031 (14%)	1,445 (53%)	1,103 (54%)	16,588 (11%)	1,213 (44%)	917 (45%)

資料：2020年農林業センサ組替集計結果

田で小麦及び大豆を作付けした農業経営体の販売金額規模

水稻（食用）を作付けした農業経営体のうち、農産物販売金額が1千万円を超える経営体数の割合は、水稻（食用）のみを作付けした経営体では約1割ですが、水稻（食用）に加えて田作小麦・大豆を作付けした経営体では約3割と大幅に多くなっています（図2）。

図2 水稻（食用）を作付けした農業経営体の農産物販売金額割合（東北）



資料：2020年農林業センサ組替集計結果

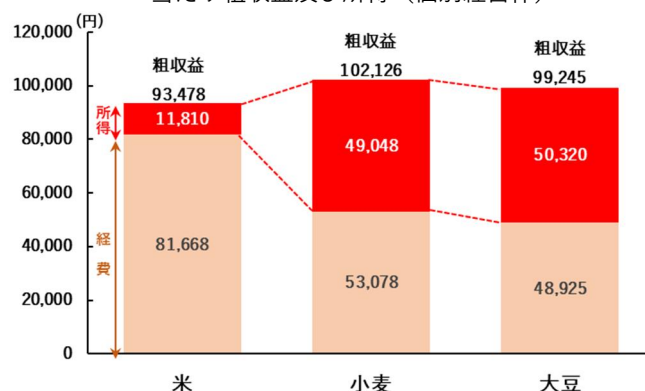
注1：水稻（食用）を作付けした農業経営体について、田に作付した農作物別に農産物販売金額規模別の農業経営体数を組替集計したものである。

注2：表示単位未満の数値を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

田作の小麦及び大豆の10a当たりの所得

田耕地で栽培された個別経営体の米、小麦及び大豆の10a当たり粗収益（経営所得安定対策等の交付金を含む。）は、いずれも10万円程度で大きな差はありませんが、経費を差し引いた所得でみると、米の1万1,810円に比べて、小麦及び大豆は約5倍と高くなっています（図3）。

図3 田耕地で栽培された米、小麦、大豆の10a当たり粗収益及び所得（個別経営体）



資料：令和3年産農産物生産費統計調査結果（個別経営体）

注1：粗収益（所得+経費）には、経営所得安定対策等の交付金が含まれている。

2：米は、東北の調査結果である。

3：小麦及び大豆は、全国の田作（田の作付面積割合が50%以上）の調査結果である。



大豆（田作）の作付面積及び浸水エリア色分け地図（集落別）

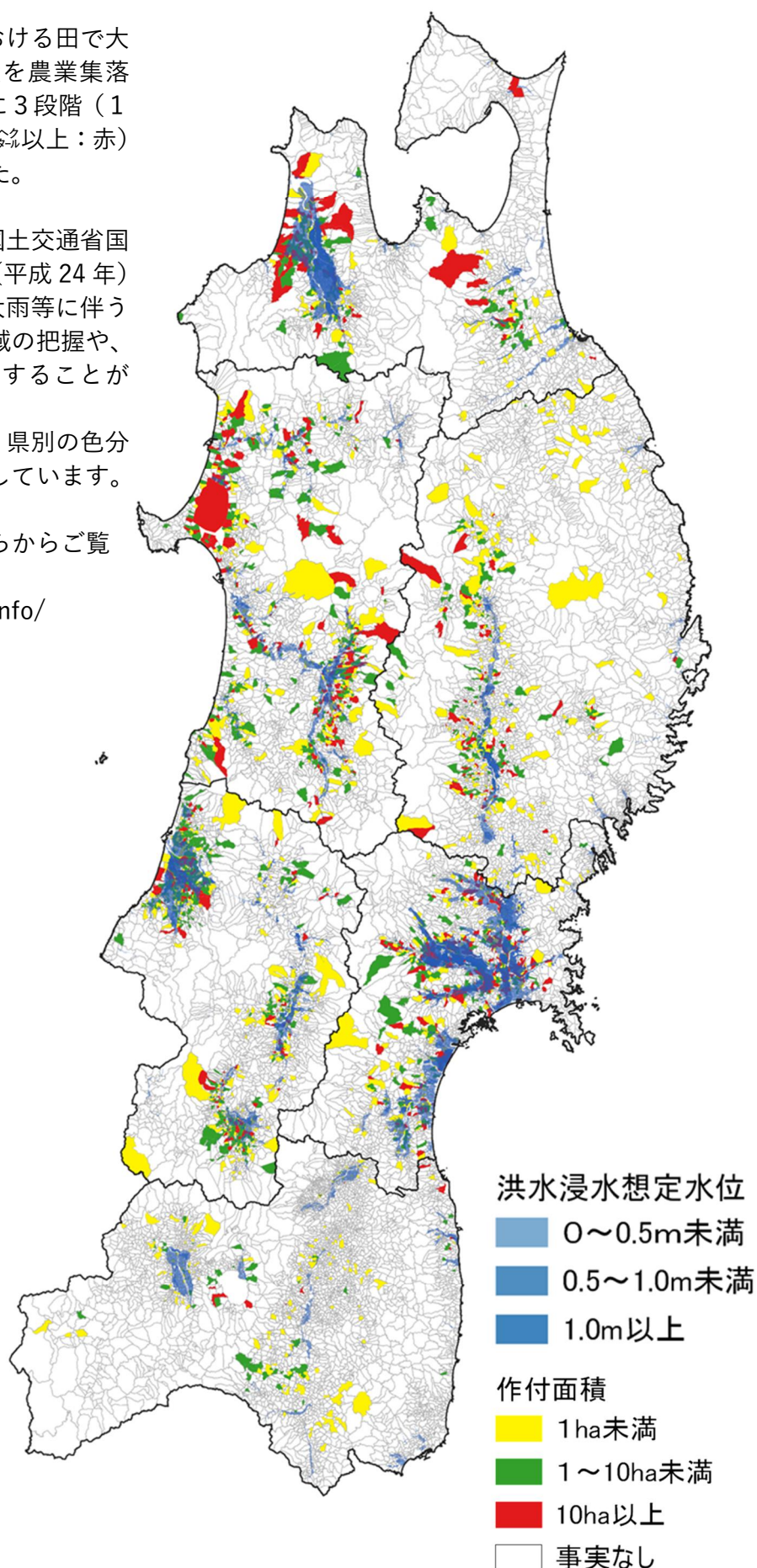
2020 年農林業センサス調査結果における田で大豆を作付けした農業経営体の作付面積を農業集落ごとに集計し、これを作付面積規模別に3段階（1 ㍔未満：黄色、1～10 ㍔未満：緑、10 ㍔以上：赤）に色分けして作付状況を地図化しました。

この大豆作付面積の色分け地図に、国土交通省国土数値情報の洪水浸水想定区域データ（平成 24 年）を重ねて表示することにより、台風・大雨等に伴う洪水浸水による農作物被害発生想定地域の把握や、大豆等の畑作物の作付振興適地を把握することができます。

なお、東北農政局ホームページには、県別の色分け地図、市町村別の色分け地図を掲載しています。

作付面積及び浸水エリアマップこちらからご覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/deta/colormaps.html#shinsui> 】



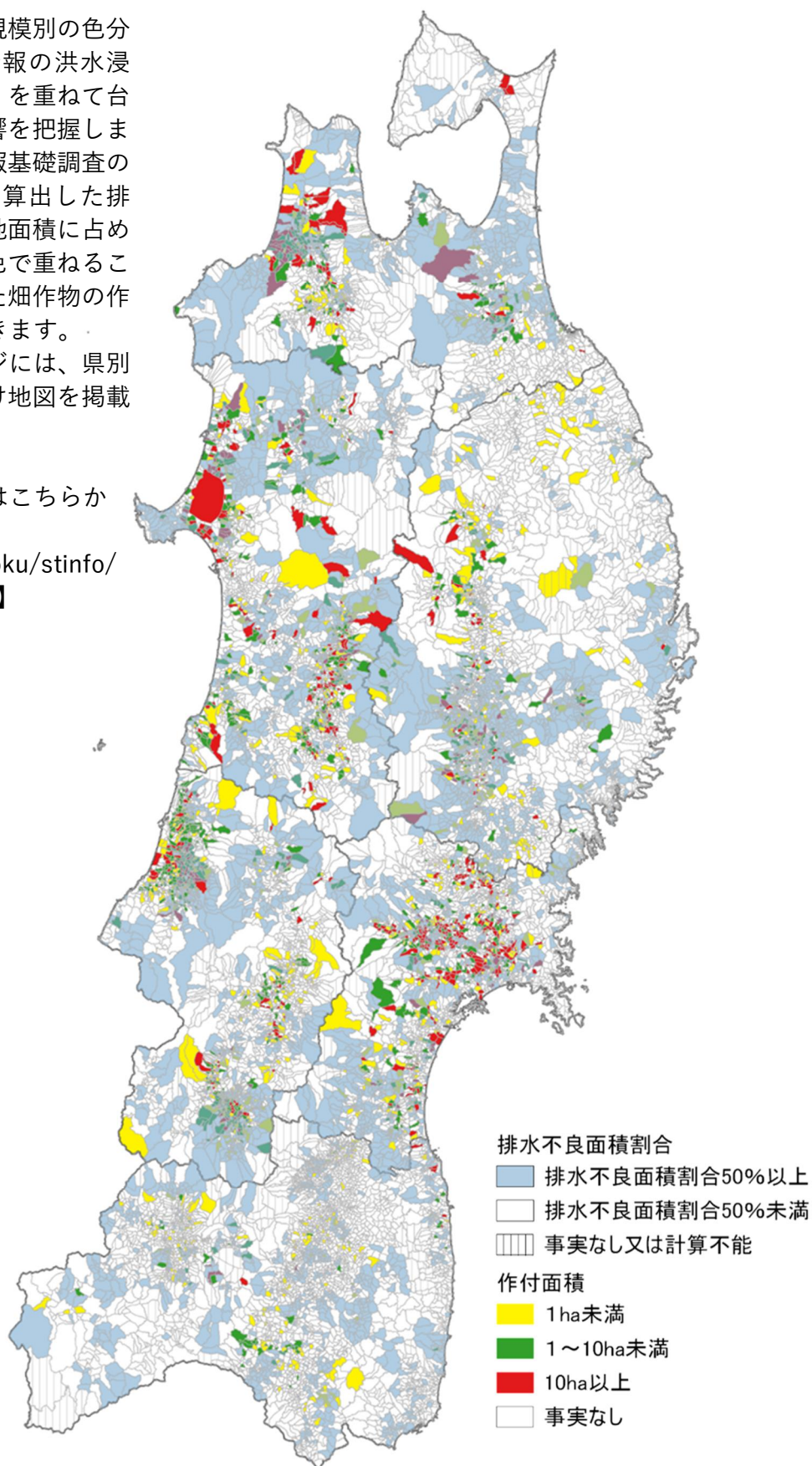
大豆（田作）の作付面積及び排水不良面積割合色分け地図（集落別）

前ページでは、大豆作付面積規模別の色分け地図に国土交通省国土数値情報の洪水浸水想定区域データ（平成 24 年）を重ねて台風・大雨等に伴う洪水浸水の影響を把握しましたが、ここでは、農業基盤情報基礎調査の排水良好面積データを活用して算出した排水不良面積割合（農業集落の耕地面積に占める排水良好面積割合で算出）を水色で重ねることにより、湿害の影響を考慮した畑作物の作付振興適地を把握することができます。

なお、東北農政局ホームページには、県別の色分け地図、市町村別の色分け地図を掲載しています。

作付面積及び排水不良マップはこちらからご覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/deta/colormaps.html#haisui> 】



-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

「まふナビ東北（東北地域にクローズアップした分析）」はこちらからご覧いただけます。

東北農政局ホームページ <https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/bunseki/maffnabi.html>

